



最上エコボリスの実現
= 豊かな自然 輝くもがみ =

小国川だより

最上小国川治水対策について、お知らせします。

小さなダム・大きな仕事 最上小国川ダム

第29号

平成23年4月26日発行

山形県 最上総合支庁
建設部 河川砂防課

この度の東北地方太平洋沖地震により被災された皆様、また、被災地に所縁の深いご関係の皆様、謹んでお見舞い申し上げます。
一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

最上総合支庁長 小松 喜巳男

最上小国川ダム事業の検証に係る対応方針について

平成23年2月28日に、県はダム(流水型ダム)案を最良な治水対策とする「最上小国川ダム事業の検証に係る対応方針」を国へ報告しました。

報告までの手順や検証内容について、小国川だよりで今号から分けて紹介します。

最上小国川ダムの検証検討においては、国から示された「ダム事業の検証に係る検討に関する再評価実施要領細目」の手順により進められました。

1. 情報公開、意見聴取(右図参照)

検証検討の過程では、学識経験を有する者等からなる「最上小国川流域の治水と活性化を考える懇談会」※1、関係地方公共団体との検討の場となる「最上小国川流域治水対策検討会議」※2からの意見を参考に、平成22年12月1日に「対応方針(素案)」※3を公表し、パブリックコメント※4及び流域住民説明会※5での意見や、「最上小国川流域治水対策検討会議」※6からの意見を参考に「対応方針(案)」※7を作成しました。

最終的に、「対応方針(案)」※7に対して「山形県公共事業評価監視委員会」※8より意見をいただき、知事が「対応方針」※9を決定しました。

2. 検証対象ダム事業の点検

検証では要領細目に従い、総事業費、堆砂計画、工期、洪水実績など計画の前提となっているデータ等について点検を行いました。

例えば、ダムの総事業費は、平成19年度の算定では約70億円としましたが、詳細設計に基づいた最新の数量と、山形県における最新の事例等に基づき算定した結果、約64億円となりました。

3. 複数の治水対策案の立案

複数の治水対策案を比較するため、赤倉地区の特徴を考慮して適用可能な26の方策から、治水安全度の向上が図れる方策として、下記の4案を抽出しました。

(1)ダム(流水型ダム)案：赤倉地区上流約2kmに流水型ダムを建設

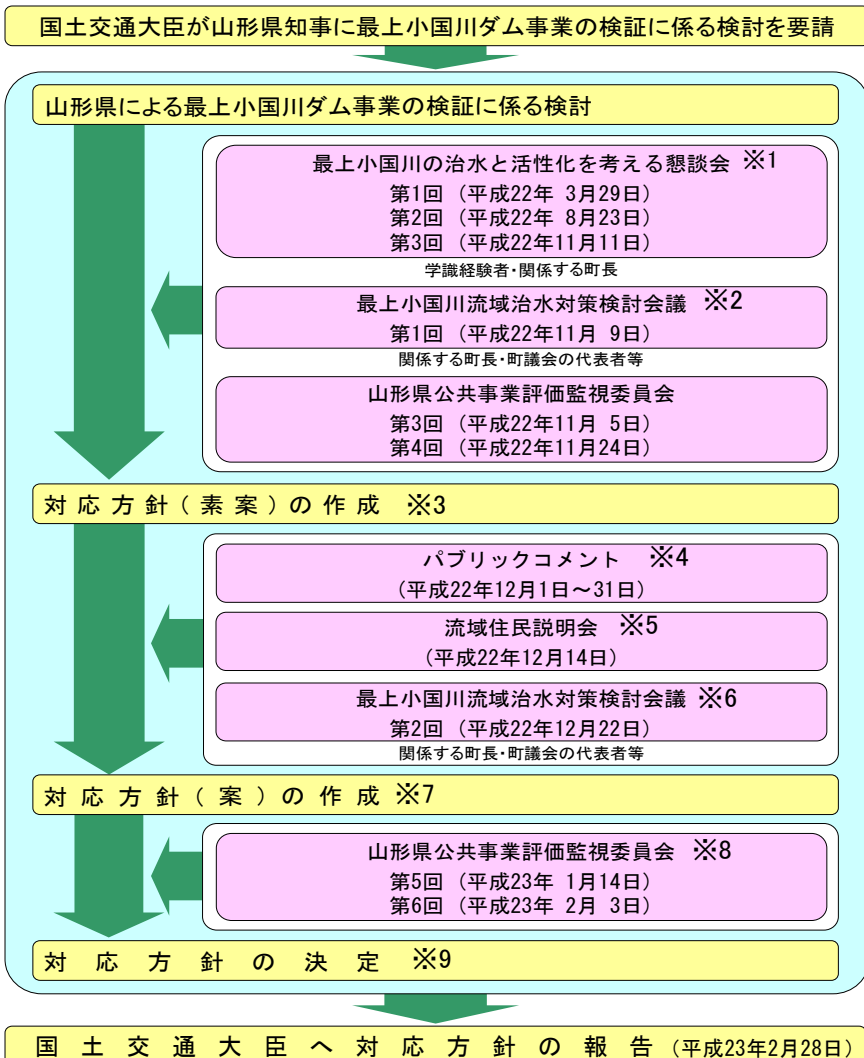
(2)遊水地案：赤倉地区上流の低平地に遊水地を建設

(3)放水路案：赤倉地区上流に分水地点を設け、洪水の一部を別ルートで分水

(4)河道改修案：河道の掘削、引堤、堤防のかさ上げにより河道の流下能力を向上

裏面へ続く

図 最上小国川ダムの検証検討の経緯



4. 概略評価による治水対策案の抽出

治水対策案として立案した前ページの4案について、河道及び流域の特性を踏まえて概略評価を行い、治水対策案を抽出しました。

今号では(1)ダム(流水型ダム)案と(4)河道改修案について下記に示します。

(1)ダム(流水型ダム)案：

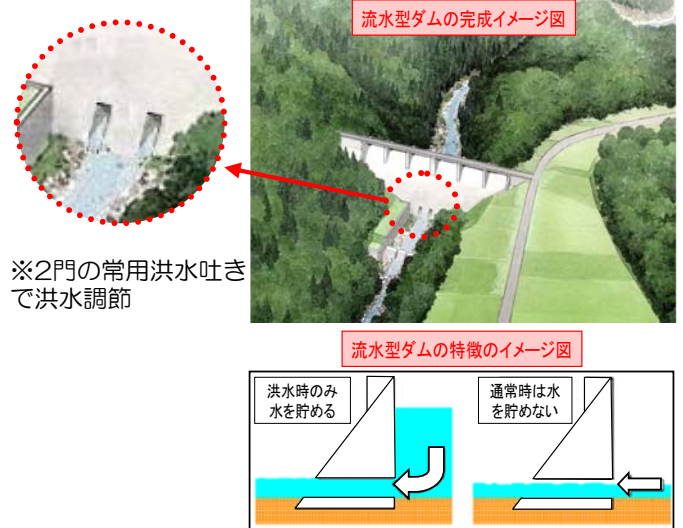
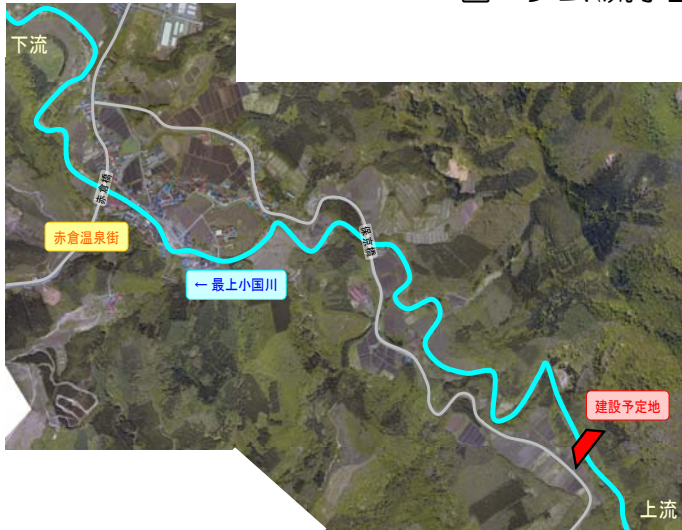
赤倉地区上流に流水型ダムを建設して赤倉地点の計画対象洪水のピーク流量(※)を低減させる治水対策で、地形、地質等を考慮して、最も効率的な赤倉地区上流約2kmに流

水型ダムを建設し、洪水調節効果により、赤倉地点における計画対象洪水のピーク流量が340m³/sから120m³/sに低減します。

流水型ダムは、洪水調節のみを目的とする治水専用ダムで、通常時は流水を貯留せず、洪水時のみ一時的に流水を貯留するダムです。(下図参照)

※ピーク流量：治水計画の対象となる洪水の最大の流量

図 ダム(流水型ダム)案の概要



(4)河道改修案：

築堤、河道掘削等により、河道の流下能力を向上させ、河川整備計画で定められた計画高水流量(赤倉地区340m³/s)を安全に流下させる治水対策です。

赤倉地区では温泉街が河川に沿って立地している現状を考えると、既設の護岸を嵩上げすることは難しく、温泉旅館等は移転するこ

ととして、**右岸拡幅案(緑線)**・**両岸拡幅案(赤線)**・**左岸拡幅案(橙線)**を検討しました。(下図参照)

その結果、河道改修案として**右岸拡幅案(緑線)**をコスト面で最も有利な対策案として抽出しました。(下表参照)

図 河道改修案の検討ルート



表 右岸拡幅案概要

	右岸拡幅案
概要	右岸を堤内地(※)側に20~30mほど拡幅し、築堤・護岸整備を行う案
特徴	左岸側の大型温泉旅館等はほぼ現状のまま維持される
補償対象	移転補償 41棟 営業補償 16事業所
概算事業費(赤倉地区のみ)	約62億円

※堤内地：堤防で守られている宅地や農地がある区域 **次号へ続きます**

発行：山形県 最上総合支庁 建設部 河川砂防課 最上小国川ダム建設室 高橋・後藤
〒996-0002 山形県新庄市金沢字大路上 2034
お問合せ先 電話 0233-29-1407 Email -【前面面を参考にして下さい。】

バックナンバーは県HPからダウンロードできます。アドレスは下記のとおりです。

http://www.pref.yamagata.jp/regional/mogami_bo/news/news/7314074ogunigawa_news.html